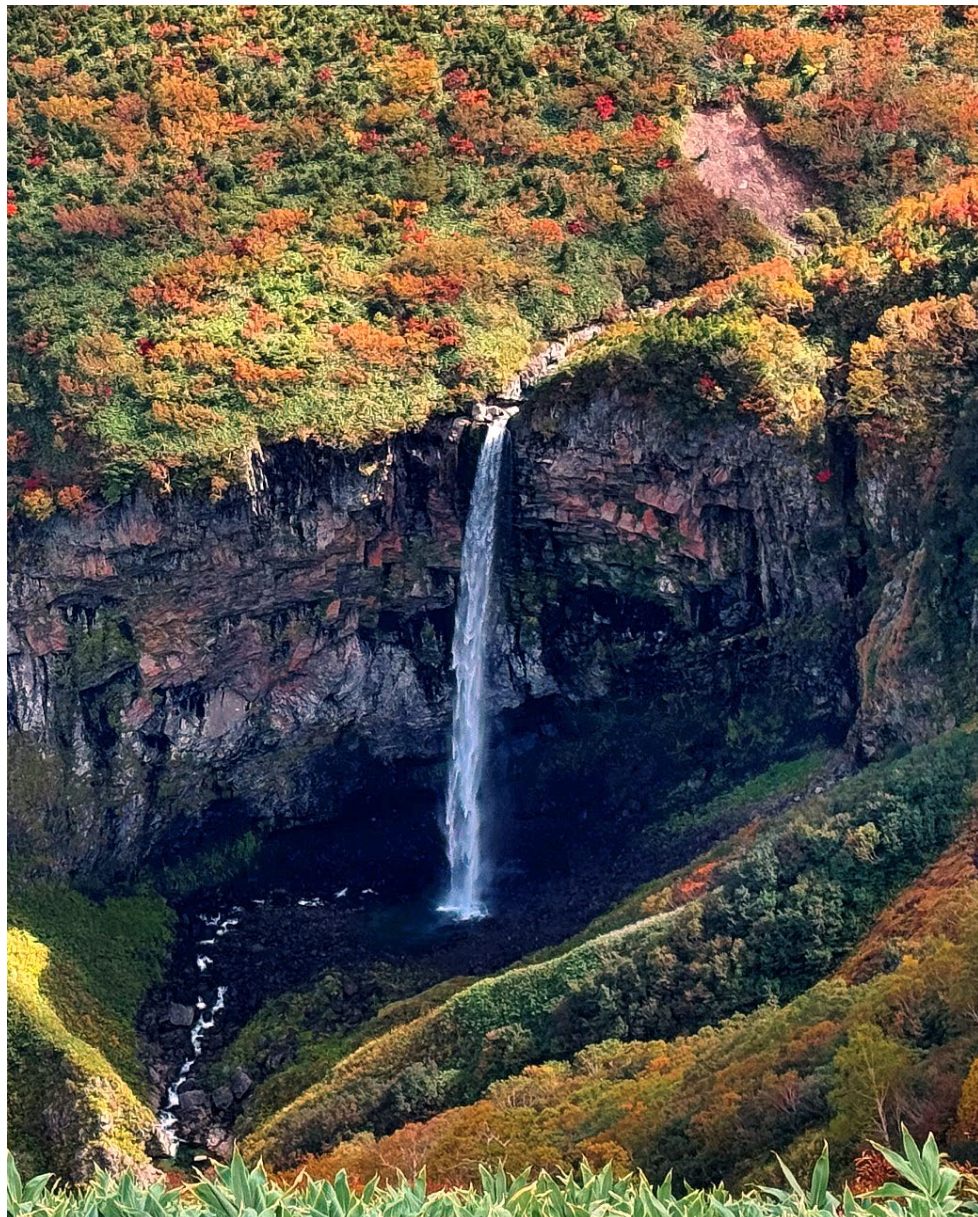


令和7年度 環境省

レンジャー写真展

名古屋・白山・伊勢志摩 中部地方の生きもの、風景と活動の様子



中部地方の「国指定藤前干潟鳥獣保護区」、「白山国立公園」、「伊勢志摩国立公園」の豊かな自然の保護と利用を推進するレンジャーとアクティブ・レンジャーが撮影した活動の様子や自然の風景、生きものの写真を、白山・名古屋・伊勢志摩の3地域を巡回してご紹介します。

期 間 2025 12.4 水 → 12.16 火

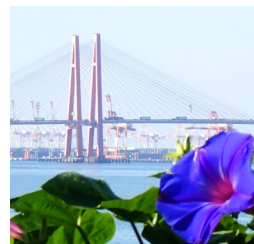
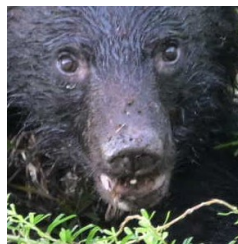
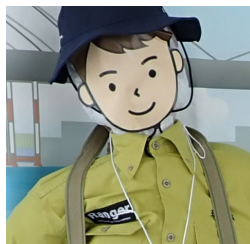
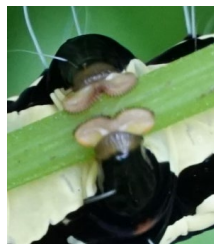
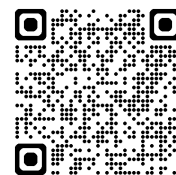
会 場 大野市健康保養施設 あっ宝んど

観 覧 無料 ※施設の利用には料金が必要です。

営業時間 10:00 ～ 23:00 休館日：第2火曜日

所 在 地 福井県大野市南新在家26-101（無料駐車場あり）

あっ宝んど
webサイト



主 催 中部地方環境事務所

お問合せ 中部地方環境事務所白山自然保護官事務所 TEL：076-259-2902（平日 8:30-17:15）

「レンジャー」「アクティブ・レンジャー」とは？

■レンジャー(自然保護官)

法律に基づき、国立公園や鳥獣保護区などの現場で、自然の保護と利用の計画づくり、巡視(パトロール)、自然環境調査、情報提供や利用施設の整備、環境省所管地の管理などを行う環境省職員のことです。

アメリカの国立公園の「パークレンジャー」にならって、昭和28年に12名が日本各地の国立公園に「現地駐在管理員」として配置されたことに始まります。現在、自然保護を担う事務所職員(自然保護官等)は363名(令和4年時点)となっています。

■アクティブ・レンジャー(自然保護官補佐)

レンジャーを補佐し、国立公園や鳥獣保護区内の巡視、自然解説や地域のパークボランティアとの連絡調整などを行う環境省の非常勤職員をアクティブ・レンジャーといいます。中部管内で活躍するアクティブ・レンジャーたちが、国立公園・鳥獣保護区の現状やイベントの様子などを日々、「アクティブ・レンジャー日記」でレポートしています。

「アクティブ・レンジャー日記」はこちらからご覧ください ▶▶▶ <https://chubu.env.go.jp/blog>



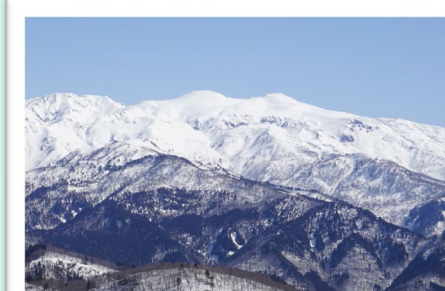
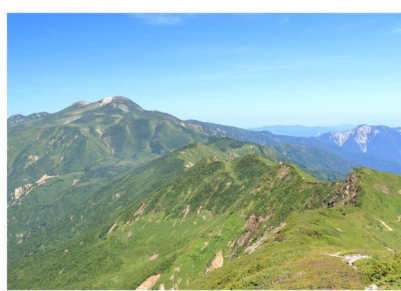
▼この写真展を担うレンジャー、アクティブ・レンジャーがいる地域とお知らせ▼



白山国立公園

白山国立公園は、日本三霊山として古くから親しまれている白山を中心とした山岳自然公園です。

最高峰は御前峰(2,702m)、山頂周辺には火口湖が点在し、夏には雪渓と水と高山植物が織りなす美しい景色を楽しむことができます。広大なブナの原生林を始めとした豊かな自然も残されており、ツキノワグマやニホンカモシカ、イヌワシを含む多様な動植物の命を育んでいます。



白山地域 イベント情報

白山地域では「自然観察会」などの自然とふれあうイベントを開催しています。お子さんにレンジャーのお仕事を体験していただく「子どもパークレンジャー事業」を今年度は2月に予定しています。詳細が決まり次第、中部地方環境事務所HPでお知らせします。

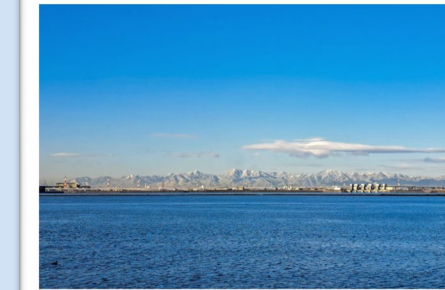


国指定 藤前干潟鳥獣保護区

藤前干潟は人口230万人が住む大都市である名古屋市内にあり、名古屋市のゴミ埋め立て処分場計画から保全された経緯があります。

そこには鳥類が170種類以上、底生生物(貝、カニ、ゴカイ等)も170種類以上が年間を通して確認されています。また、藤前干潟には、餌(魚類、底生生物)をとったり、羽を休めたりするために世界各国から渡り鳥が訪れます。

2002年11月には国際的に重要な湿地としてラムサール条約湿地に登録されました。



名古屋地域 巡回スケジュール

今年度の展示は全て終了しました。
2026年度も名古屋市内、近郊にて実施予定です。



伊勢志摩国立公園

伊勢志摩国立公園は、三重県の中央部に位置し、地域の方たちの生活、歴史、文化、風習などに深く触れられるのが特徴で、美しい景観とともに人と自然の関わりを感じさせてくれる国立公園です。

伊勢神宮が所有する広大な森は、様々な種類の植物や動物の住処になっています。

また、海岸線の大部分は、岬や入り江が多く複雑に入り組んでいる「リアス海岸」です。森の豊かな栄養分が流れ込む海は漁業が盛んで、新鮮な海の幸を味わえます。



伊勢志摩地域 巡回スケジュール

1月9日ー1月18日	鳥羽ビジターセンター
2月10日ー2月23日	横山ビジターセンター
3月3日ー3月13日	志摩市役所